

景気見通し調査(平成27年12月期)

調査結果

福井商工会議所
中小企業総合支援センター

【調査の概要】

当調査は、福井商工会議所管内の小規模事業所の短期的な景気動向を把握するため、毎年3月・6月・9月・12月の年4回実施している。

- 調査時期** 平成27年11月26日(木)～12月3日(木)
調査方法 F A Xによる送付、回収
調査対象 福井商工会議所 会員小規模事業所より 360件を抽出
(製造業・建設業・・・従業員20人以下の事業所
卸・小売業、商業・サービス・その他・・・従業員5人以下の事業所)
回答数 202件 (回収率56.1%)

	製造業	建設業	卸・小売業	サービス業・ その他	合計(%)
5人以内	15	22	30	14	81(40.2)
6～10人	16	16	9	9	50(24.9)
11人以上	19	18	13	20	70(34.9)
合計(%)	50(24.9)	56(27.9)	52(25.9)	43(21.4)	201

※不明1件除く

・文中にでてくる「DI値」とは

ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、景気動向を示す指標。「良い」「上昇」したとする企業割合から、「悪い」「下落」したとする企業割合を差し引いた値。「現在」DI値は3か月前を基準とした現在の状況、「先行」DI値は今後3か月後の状況を予測したもの。

【調査結果】

2 期連続の改善、採算性良好
 ～売上高・仕入価格・販売価格いずれも回復～

【調査結果の概要】

■業界の景況

- ・2 期連続の改善
- ・「サービス業・その他」を除く業種で改善
- ・「建設業」では 10.0 ポイントの改善

■仕入価格

- ・2 期連続の改善
- ・「サービス業・その他」以外の業種で改善

■自社の景況

- ・2 期連続の改善
- ・「製造業」「サービス業・その他」で悪化
- ・「建設業」「卸・小売業」で改善

■販売価格

- ・前回調査 (H27 年 9 月) より僅かに改善
- ・「建設業」を除く業種で改善

■売上(受注高)

- ・3 期連続の改善
- ・「卸・小売業」のみが改善

■採算(収支)状況

- ・2 期連続の改善
- ・「製造業」を除く業種で改善

【業種別動向】

業種	±	キーワード	前回調査との比較		
			業界	自社	売上(受注)
製造	+	・年末需要と寒冷需要に期待			
	-	・メーカー予算の抑制 ・価格競争激化による受注単価下落			
建設	+	・民間、公共事業ともに受注好調			
	-	・人手不足 ・冬季の受注が減少			
卸・小売	+	・高値商品の売上が増加			
	-	・消費回復の遅れによる売上減 ・ヨーロッパ情勢により、在庫を抱えた			
サービス業・その他	+	・北陸新幹線開業の効果			
	-	・人手不足 ・購買力の低下			

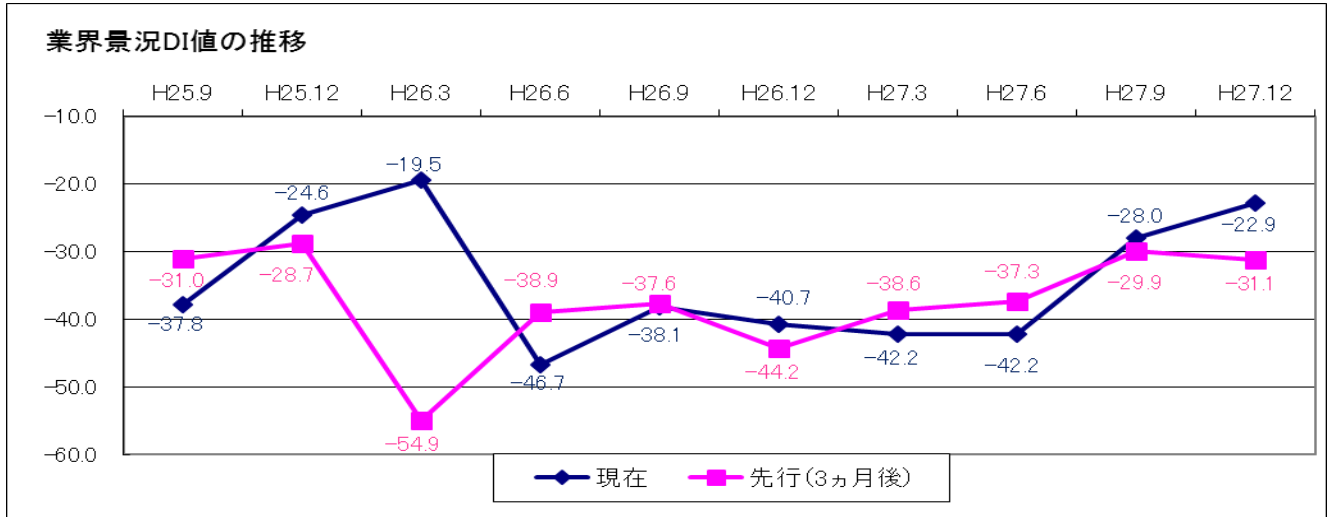
【前回調査との DI 値の比較】

	業界DI値		自社DI値		売上DI値		仕入DI値		販売DI値		採算DI値	
	現在	先行	現在	先行	現在	先行	現在	先行	現在	先行	現在	先行
全業種	5.1	1.2	1.1	-1.9	4.1	-4.2	8.8	4.7	3.8	2.3	7.9	-7.8
製造業	3.5	9.7	-4.0	-1.2	-4.2	-12.7	11.8	5.6	5.9	3.8	-2.2	13.0
建設業	10.0	-2.1	2.1	-26.9	-5.0	-18.4	13.9	17.5	-2.9	-9.2	16.6	10.2
卸・小売業	5.0	-5.1	6.8	4.3	2.7	8.9	10.4	-7.6	1.9	6.2	10.5	-11.1
サービス業・その他	-8.1	-15.6	-3.9	11.2	-1.7	6.9	-3.9	4.5	11.9	0.8	3.3	-13.8

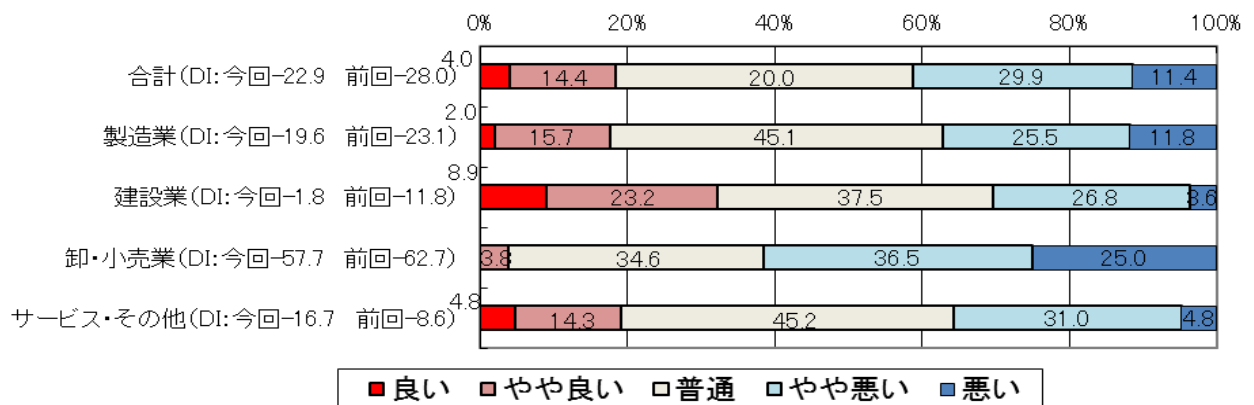
【業界の景況】

2期連続の上向き、改善続く

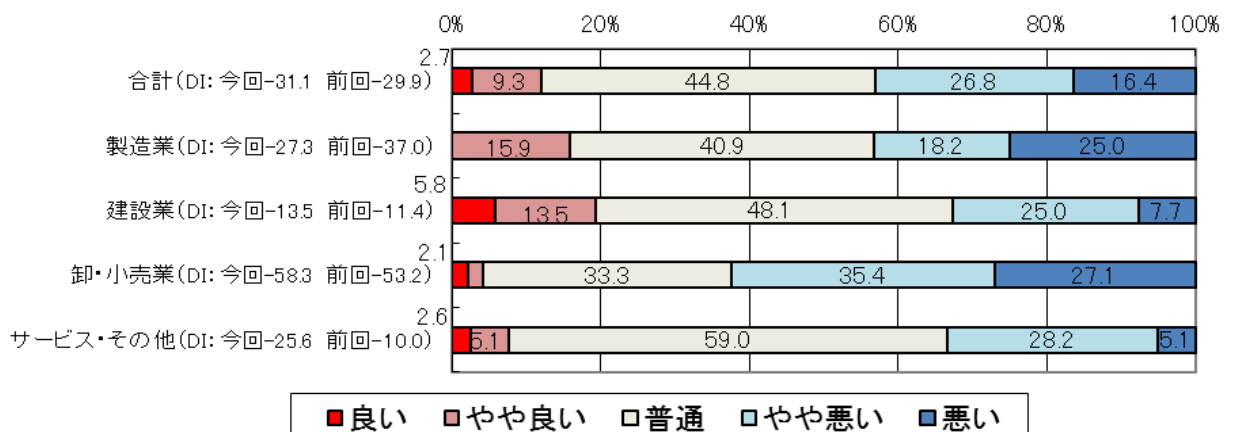
業界の景況は、「現在」DI値が▲22.9と前回調査から5.1ポイントの改善、2期連続で上向きとなり回復が着実なものとなりつつある。業種別では、「サービス業・その他」以外の業種で改善となり、特に「建設業」では10.0ポイントと大きな改善を示した。「先行」DI値は▲31.1と「現在」DI値と比べ8.2ポイントの悪化を見込んでおり慎重な見通しである。



現在の業界景況：業種別



3ヵ月後の業界景況：業種別

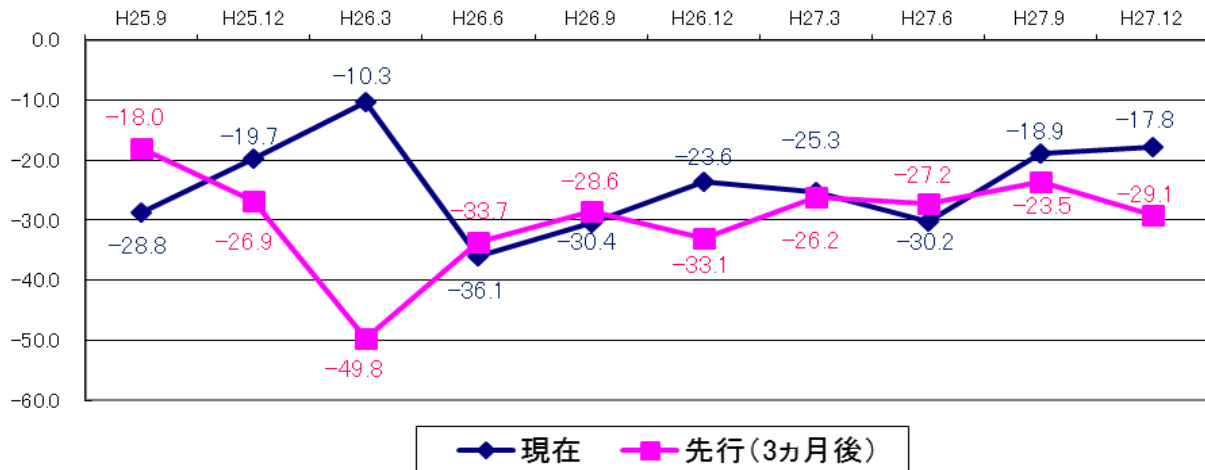


【自社の景況】

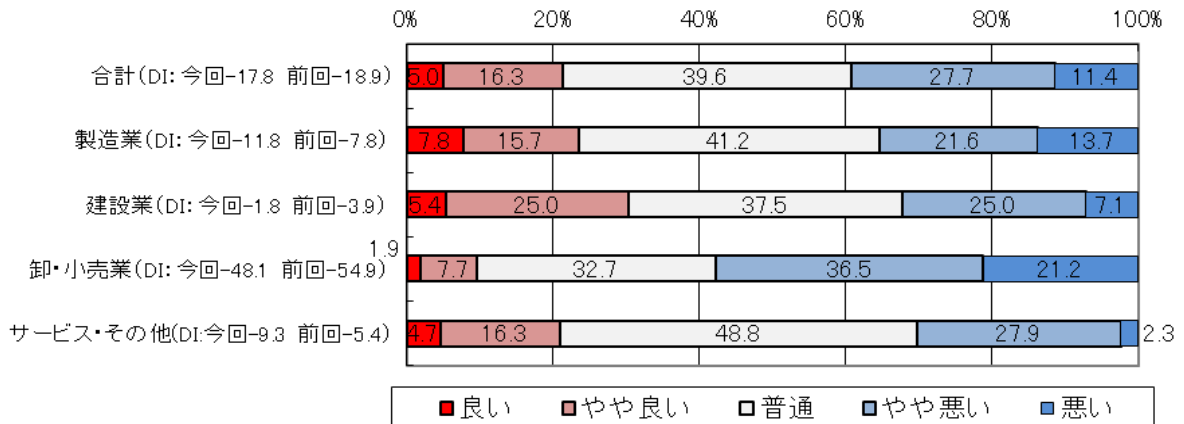
緩やかながらも改善続く

自社の景況は、「現在」DI値▲17.8と、前回調査から1.1ポイントの改善、小幅ながら【業界の景況】同様、2期連続の回復傾向を示した。業種別では、「建設業」「卸・小売業」で改善した一方、「製造業」「サービス・その他」で悪化となった。「先行」DI値は、▲29.1で「現在」DI値と比べ11.3ポイントの悪化を見込んでいる。業種別では、「建設業」の悪化見通しが目立っている。

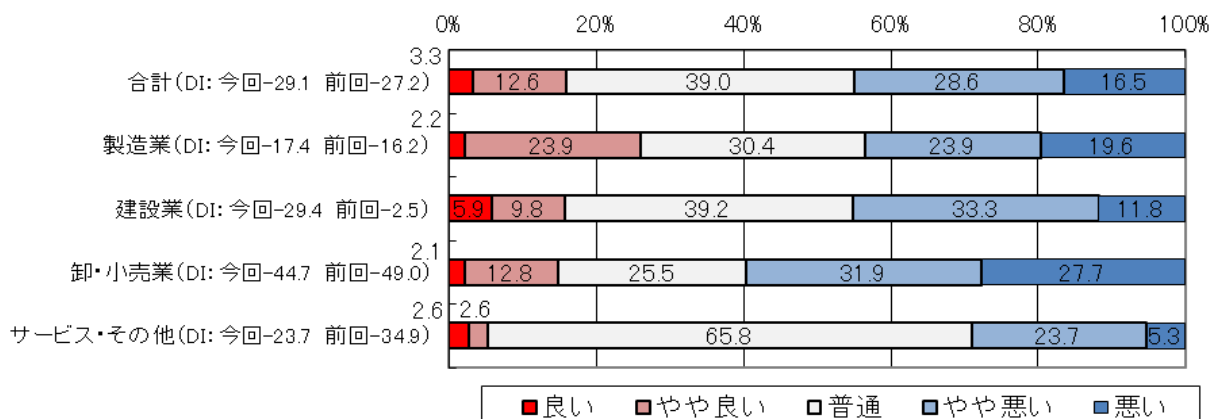
自社景況DI値の推移



現在の自社景況：業種別



3ヵ月後の自社景況：業種別



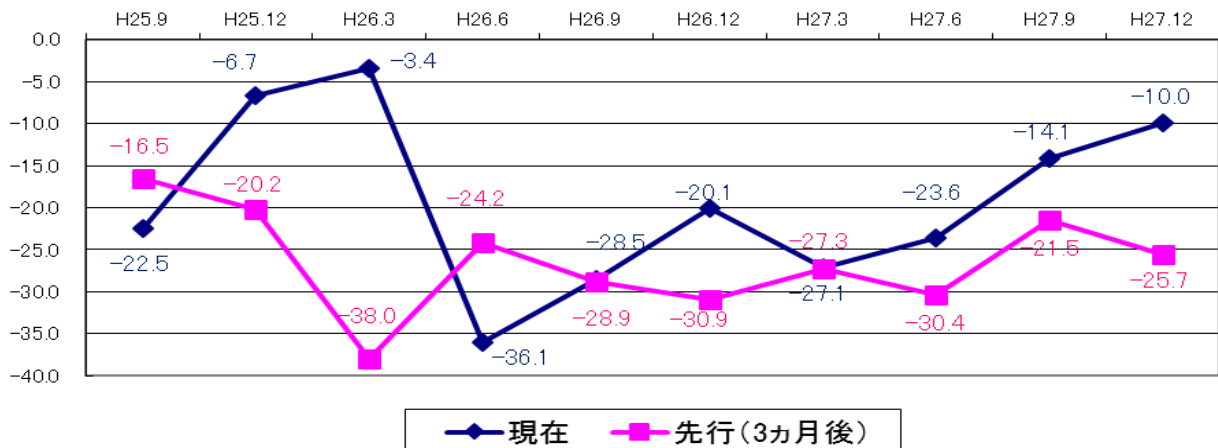
【売上(受注高)】

改善傾向続くも業種間でばらつき

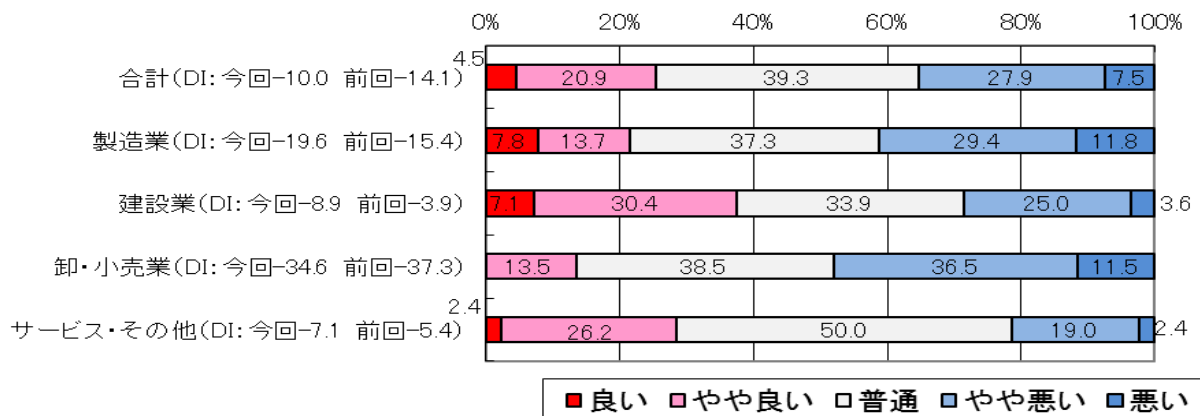
売上(受注高)の「現在」DI値は、▲10.0と前回調査より4.1ポイント改善し3期連続の改善となった。業種別では、「製造業」で4.2ポイント、「建設業」で5.0ポイントの悪化となり、全体では改善ではあるが業種によってばらつきが見られる。

「先行」DI値は、▲25.7と「現在」DI値と比較すると15.7ポイントの大きな悪化を予測しており、慎重な見通しを示している。業種別にみると、「製造業」で12.7ポイント、「建設業」では18.4ポイントの悪化を見込んでいる。

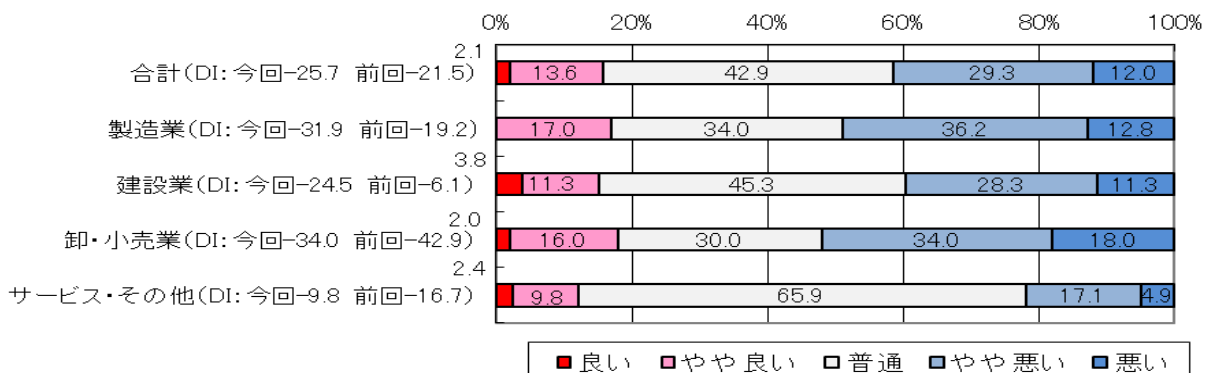
売上状況DI値の推移



業種別：現在の売上状況



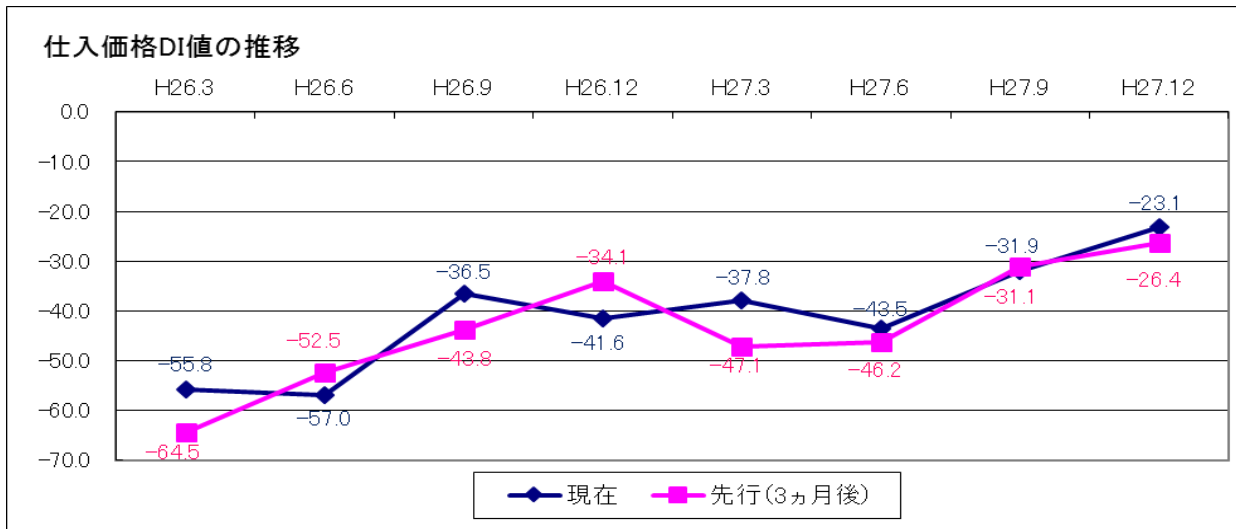
業種別：3ヵ月後の売上状況



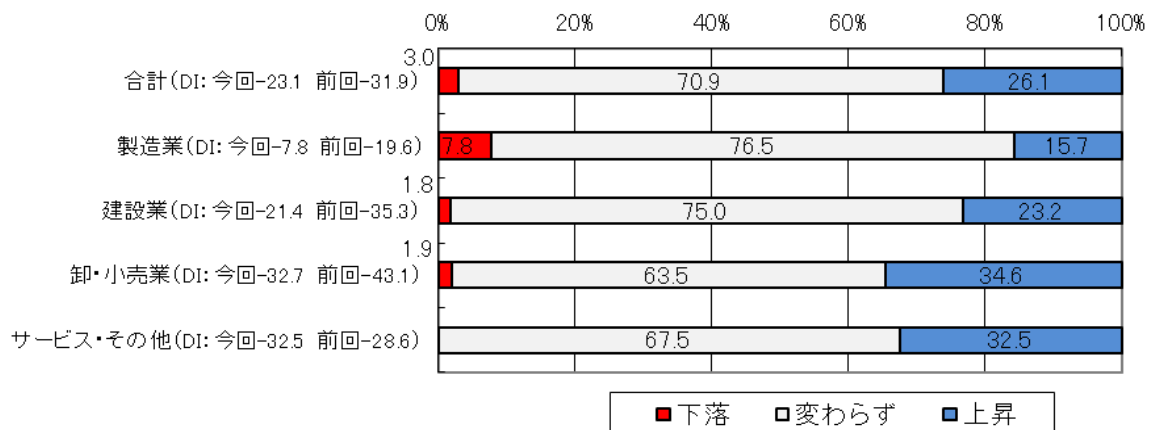
【仕入価格】

改善続く、今後も同水準で推移

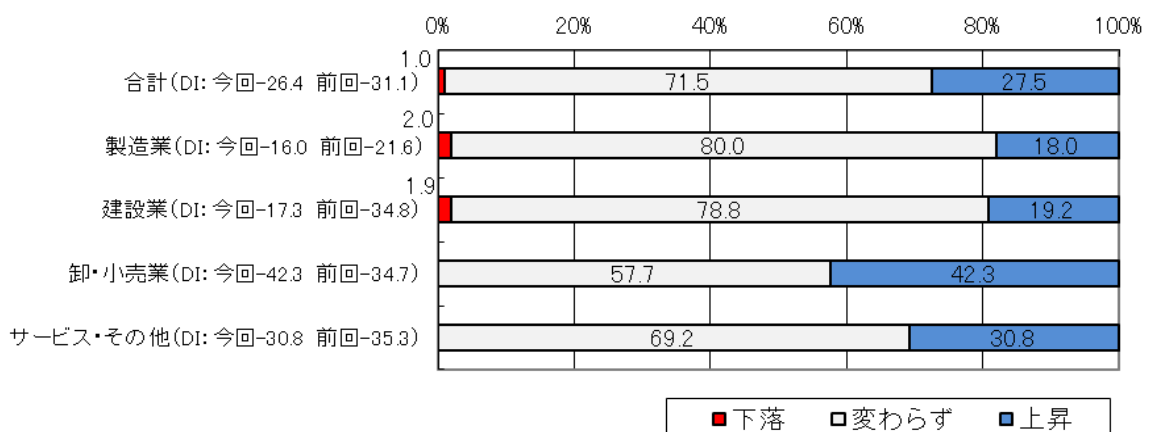
仕入価格の「現在」DI値は、▲23.1と前回調査より8.8ポイントの改善を示し2期連続の改善となった。業種別では、「サービス・その他」以外の業種で改善し、特に「建設業」は13.9と大きく改善した。DI「先行」DI値は、▲26.4と「現在」DI値と比較すると3.3ポイントの悪化ではあるが、ほぼ同水準で推移すると見込んでいる。業種別では、「サービス業・その他」を除いた業種で改善が見られ、「建設業」では仕入価格が大幅に下落すると見込んでいる。



業種別：現在の仕入価格の状況



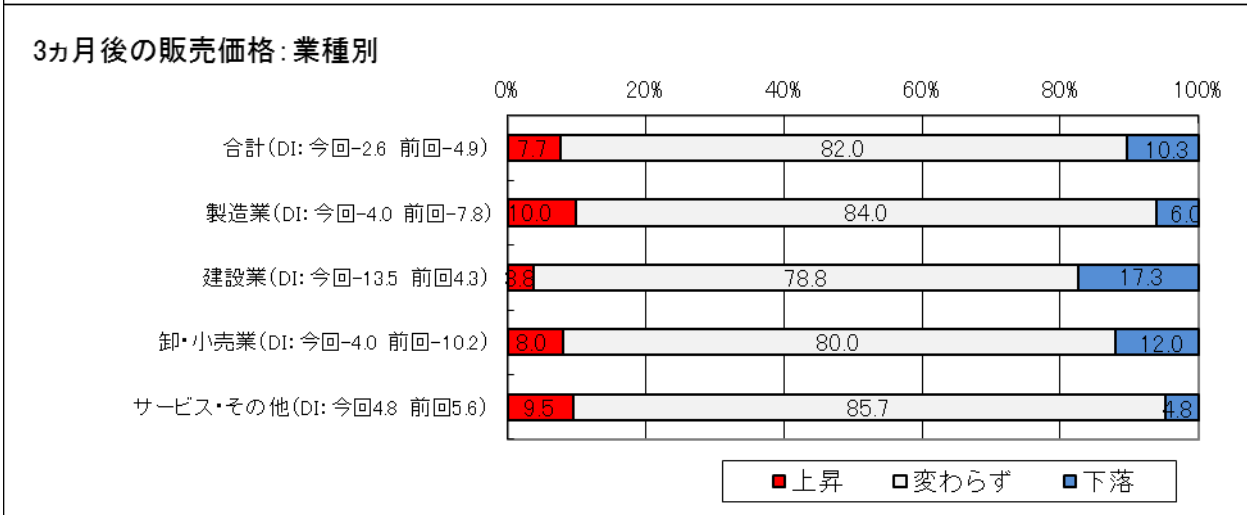
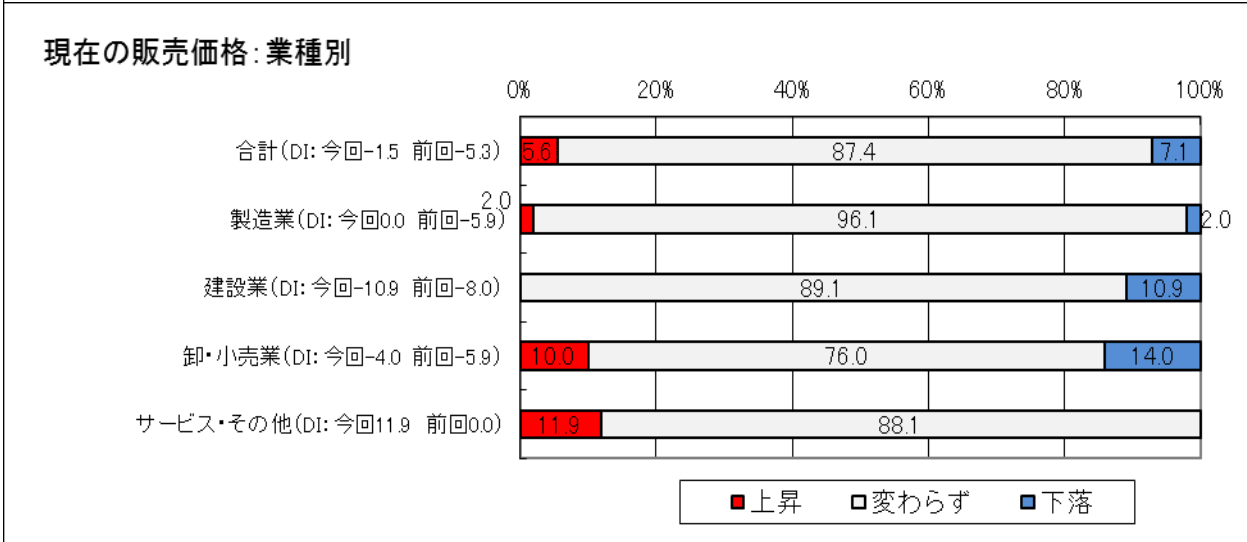
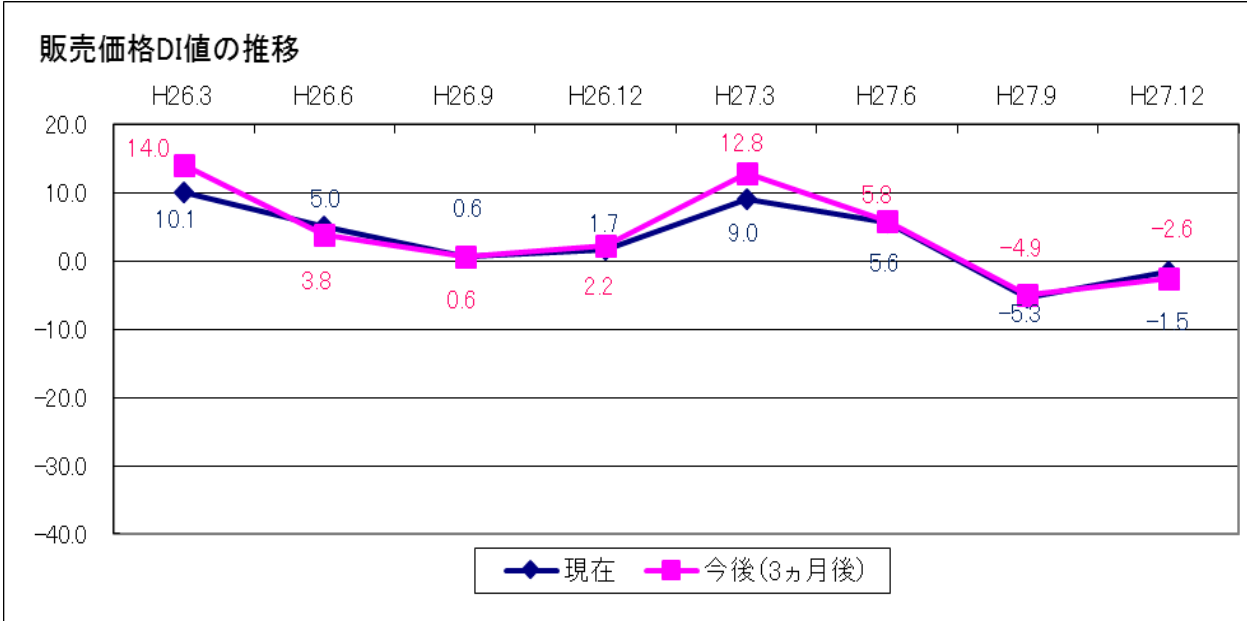
業種別：3ヵ月後の仕入状況



【販売価格(単価)】

小幅ながらも改善、今後も改善を見込む

販売価格(単価)の「現在」DI値は▲1.5で前回調査から3.8ポイントとわずかながらも改善となった。業種別では「建設業」を除く全ての業種で改善が見られ、中でも「サービス業・その他」は前回調査から11.9ポイントも上回った。「先行」DI値は▲2.6と、「現在」DI値と比べ1.1ポイントの悪化を見込んでいる。業種別では、「建設業」が振るわず13.5ポイントの悪化となった。

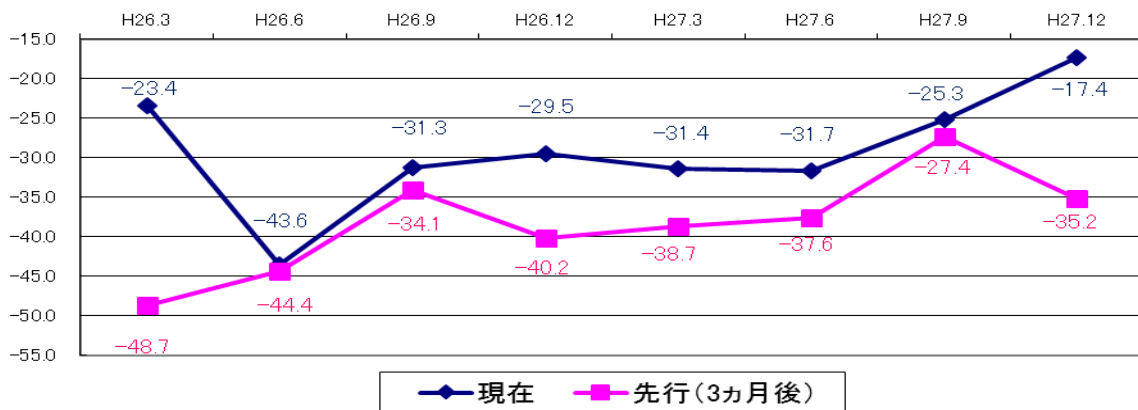


【採算(収支)状況】

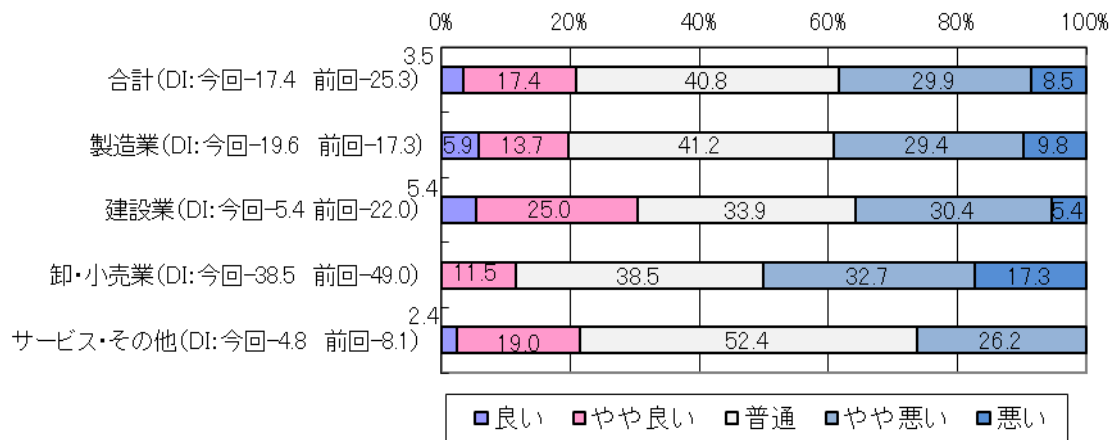
売上、仕入・販売価格の改善で回復続く

採算(収支)状況の「現在」DI値は▲17.4と前回調査より7.9ポイントの改善で2期連続の改善を示した。採算を左右する【売上(受注高)】【仕入価格】【販売価格(単価)】が改善したことで大きな回復につながったと考えられる。業種別では「製造業」以外の業種で改善し、特に「建設業」の値が前回の値から16.6ポイントも上回った。「先行」DI値は、▲35.2と「現在」DI値と比べ17.8ポイントの大きな悪化を予測している。業種別では「サービス業・その他」で採算の状況が悪化する見通しである。

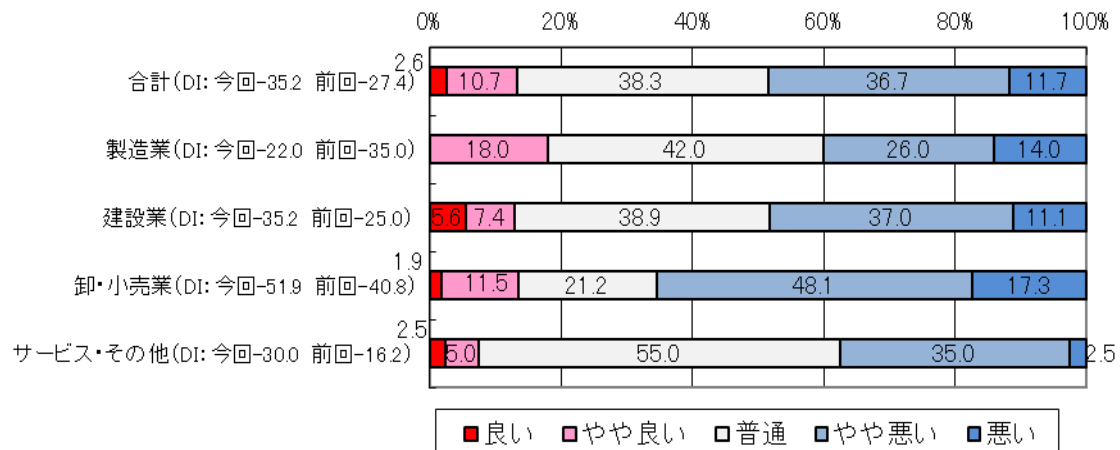
採算状況DI値の推移



業種別:現在の採算(収支)状況

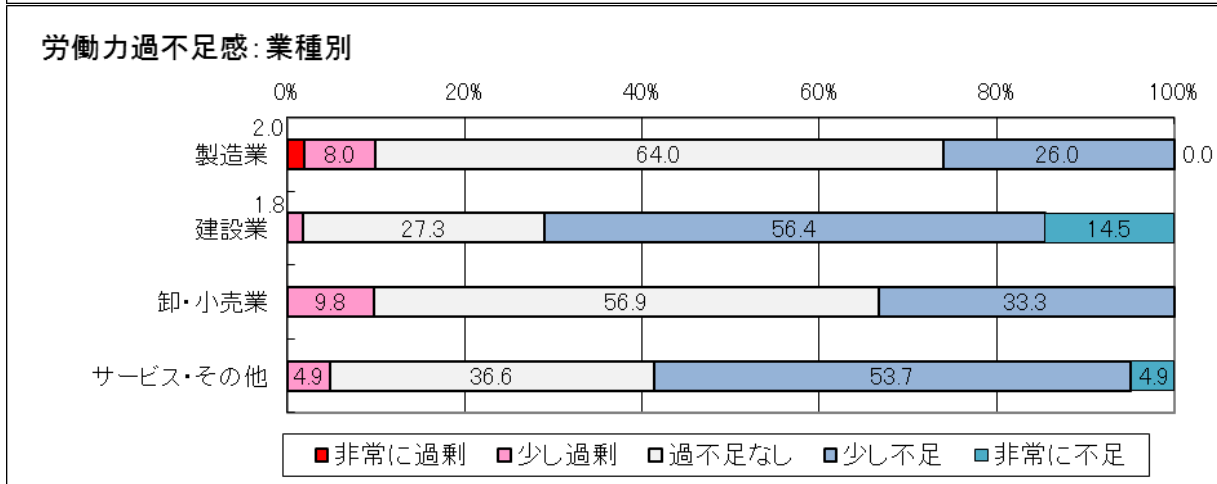
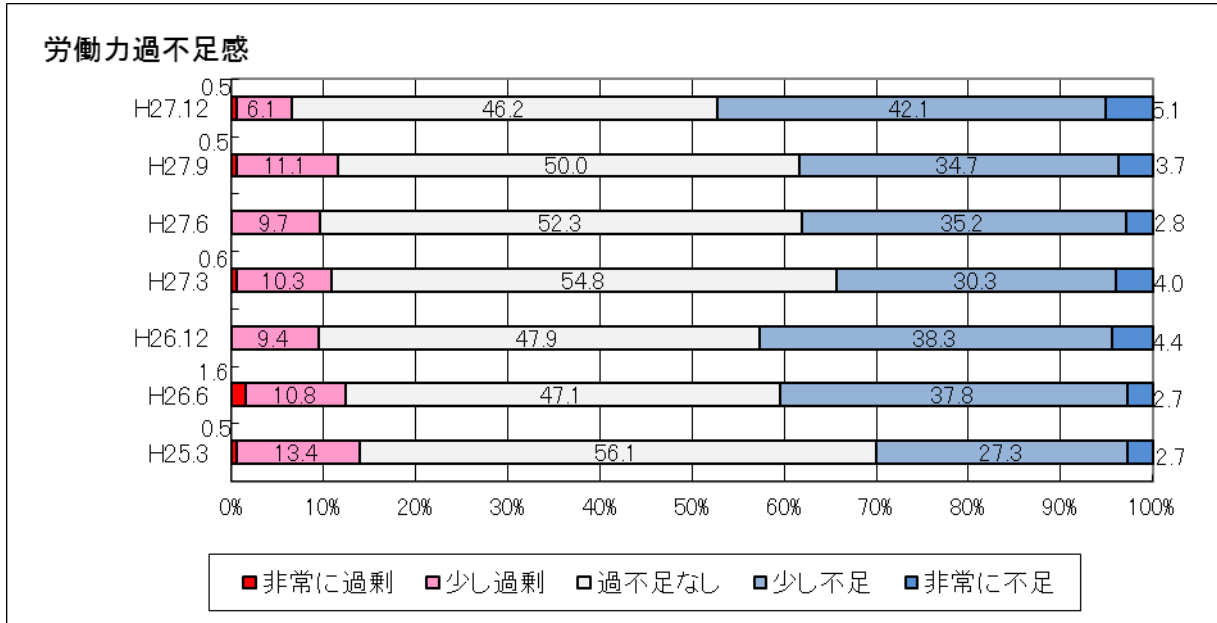


業種別:3ヵ月後の採算(収支)状況



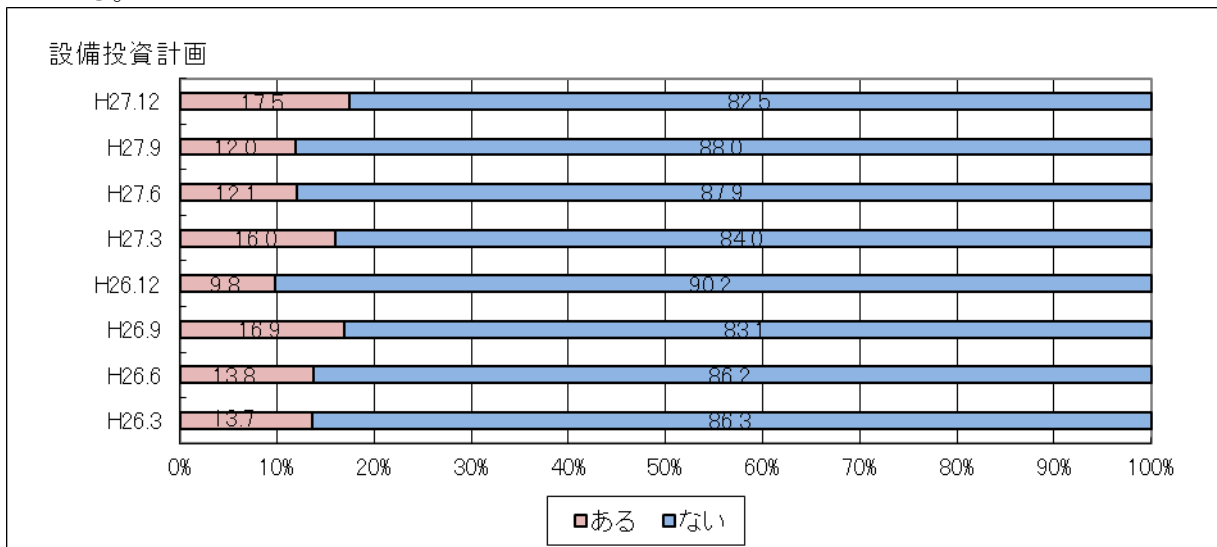
【労働力の過不足感】

「過剰」（「非常に過剰」＋「少し過剰」）と回答する企業は 6.6%と、前回調査よりも 5.0%減少している。一方で、「不足」（「少し不足」＋「非常に不足」）と回答した企業は 47.2%と、前回と比較して 8.8%の増加となった。業種別では、「建設業」と「サービス業・その他」で不足が目立っている。



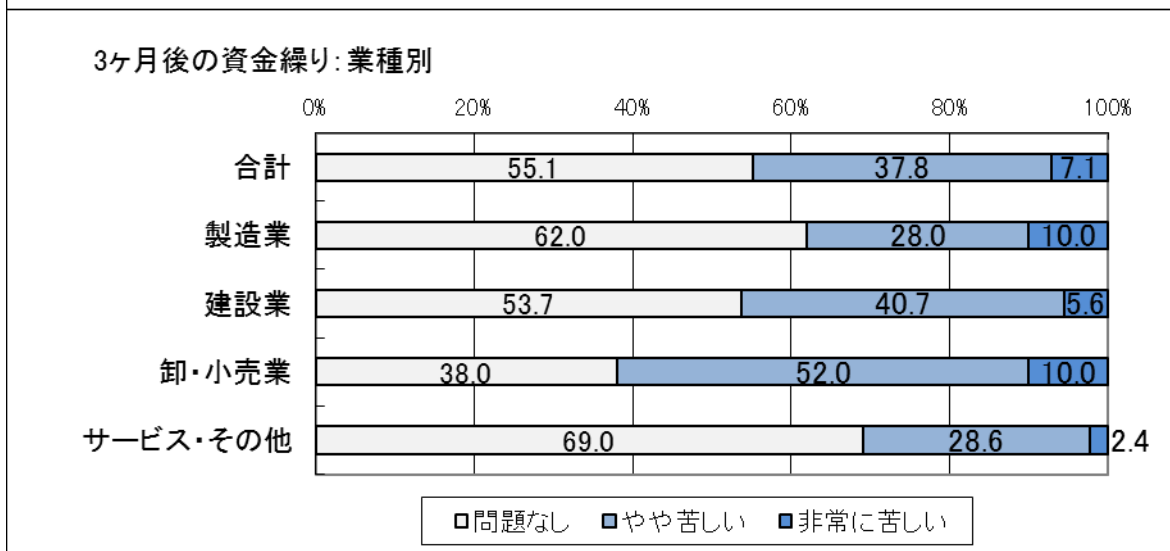
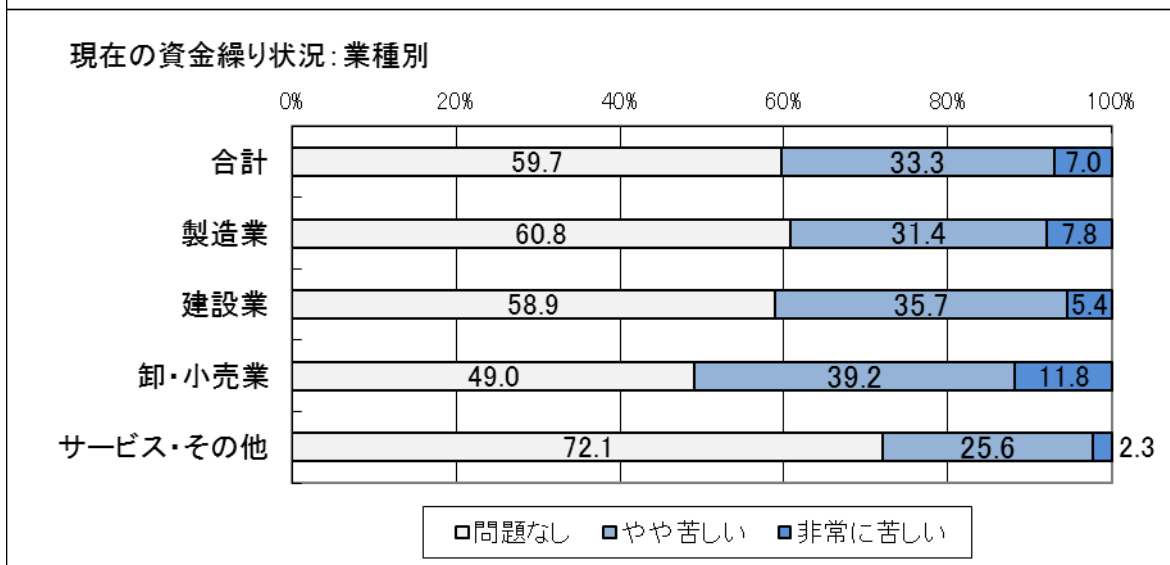
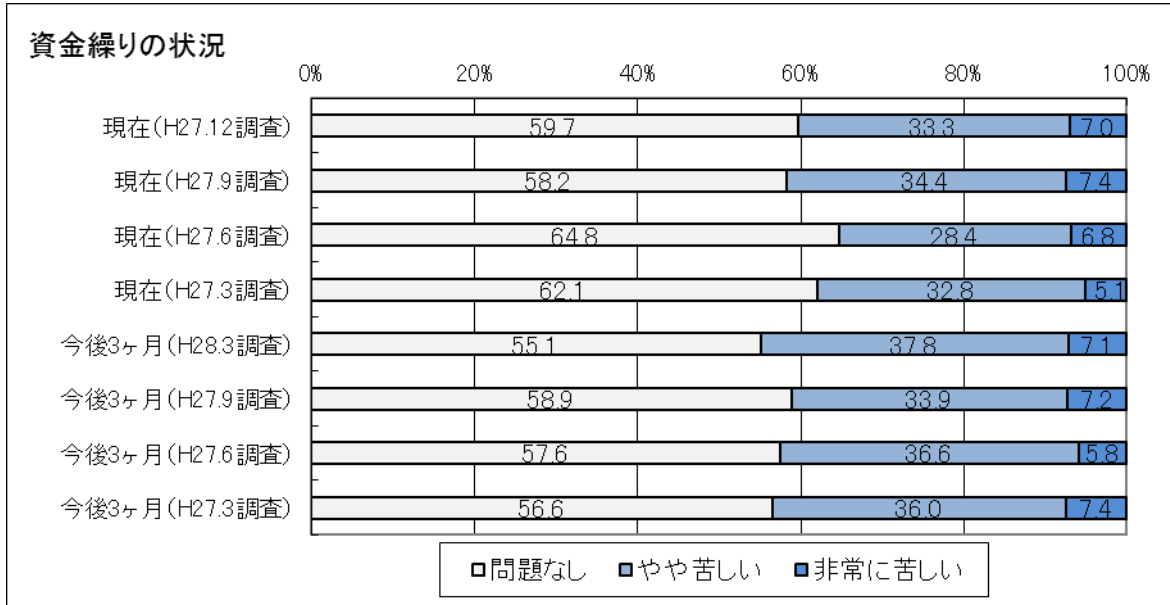
【設備投資計画】

今後 3 ヶ月以内に設備投資計画が「ある」と回答した事業所は 17.5%と、前回調査から 5.5%増加している。



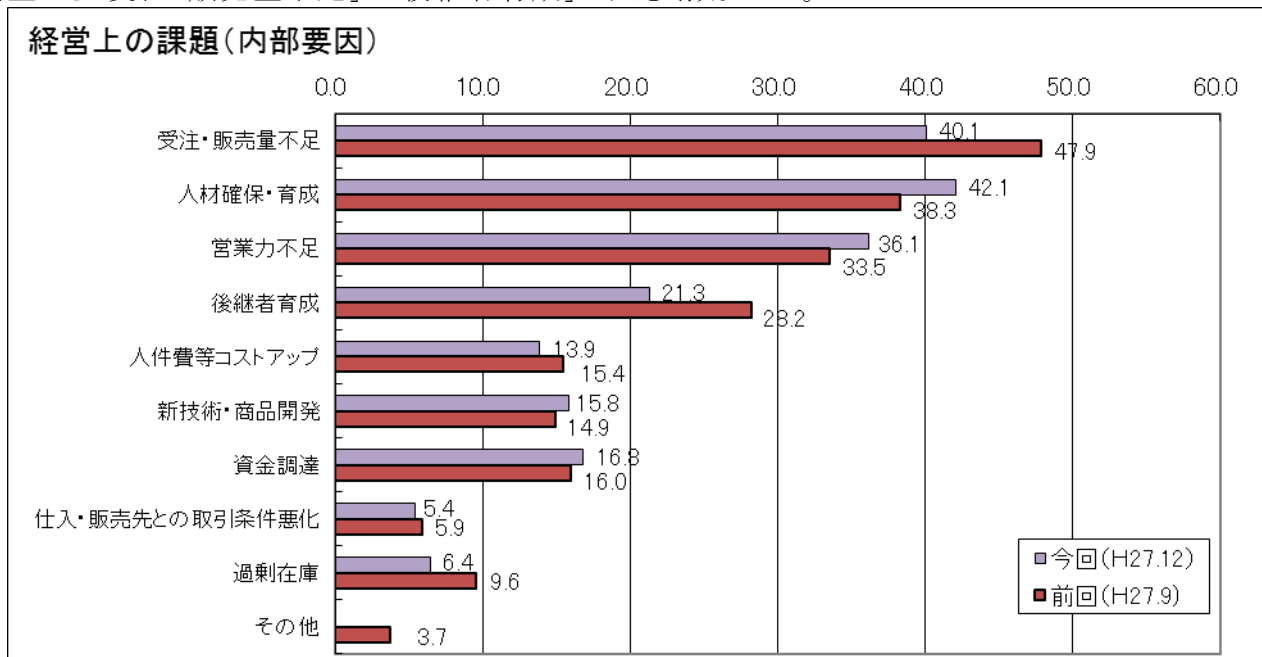
【資金繰り】

資金繰りの状況は、「問題なし」と答えた事業所の割合が1.5%増加している。また、「非常に苦しい」と答えた事業所は7.0%に留まった。業種別にみると、「サービス業・その他」において「問題なし」と答えた事業所が7割を超えている。その一方で、「卸・小売業」では半分に留まった。3ヶ月後の資金繰り状況については、「製造業」以外の業種が悪化すると見込んでいる。



【経営上の課題】（複数回答）

内部要因では、「人材確保・育成」が42.1%と最も多く、前回調査から3.8ポイント増加した。前回調査から「受注・販売量不足」と「後継者育成」が大きく減少した。



外部要因では、「価格競争激化」が28.7%と前回調査から15.7ポイントと大幅に減少した。そのほか、「取引先からの値引き圧力」も大きく減少している。

